



ロケット花火での追い上げ

サルの一斉追い上げ実施  
**サル被害をおさえるため  
 多くの町民が参加しました**  
 7月20日、サルの一斉追い上げが八森地区全域で行われ、町民約130人が参加し、ロケット花火などを使いながら一斉に追い上げを実施しました。  
 この一斉追い上げは、田畑が荒らされるなどサル害対策として、八峰町サル被害者の会が平成12年から毎年行っているものです。  
 八森地区の山沿い13か所で実施した追い上げでは、2か所でサルの姿が確認され、猟友会によるロケット弾や花火弾での追い上げを行いました。

7月15日、燃料価格の高騰による漁業経営の苦境を訴えようと、全国一斉の休漁が行われました。  
 町内でも各漁協が賛同し、ほとんどの漁船が自主休漁しました。漁港では漁船が係留されたままで、人影やエンジン音が消え、ひっそりと静まり返っていました。  
 漁業者たちは、止まらない燃料高騰に対応するため、早く出港し低速で魚場へ向かったり、近い魚場で漁をするなどの節約を行っているそうです。  
 この休漁で自分たちを取り巻く環境の改善を訴えていました。



静まりかえった漁港

町内の漁港を静寂に  
**燃料高騰を訴える  
 全国一斉休漁**



元気いっぱい担いだよ

元気がいっぱいワッショイ!!  
**岩館地区の伝統祭り  
 「岩館神明社祭典」**  
 7月16日、岩館神明社祭典が行われ、岩館海洋少年団の子どもたちが「ワッショイ、ワッショイ」と元気にみこしを担ぎながら岩館、小入川地区を練り歩きました。  
 子供たちは元気に岩館生活改善センターを出発。子供たちの元気なかけ声を聞きつけて、沿道には多くの町民が集まり、「頑張って!」などと子どもたちに声援を送っていました。3時間にわたる長い道のりでしたが、子どもたちは疲れを見せずに最後まで元気な掛け声を上げていました。  
 また、前日には宵宮演芸会が行われ、金魚すくいやくじ引きなども出店し、多くの人々で賑わいました。



わっせ! わっせ! と滝つぼへ

夏の伝統行事  
**白瀑神社例大祭  
 「みこしの滝浴び」**  
 8月1日、八峰町の夏の風物詩、白瀑神社例大祭の「みこしの滝浴び」が行われました。全国的にも有名なこの祭りには、今年もたくさんのお見物人が訪れました。  
 午前7時過ぎ、白装束に身を包んだ若衆が「わっせ、わっせ」の独特の掛け声とともに、みこしを揺らしながら白瀑神社を出発し、八森地区を練り歩きました。  
 午後1時ごろ、神社に到着したみこしは一気に滝つぼへなだれ込み、祭りはいよいよクライマックスへ。約17メートル掛け落ちる滝水を浴びながら乱舞するみこしに、大勢のカメラマンからフラッシュが浴びせられ、大歓声が沸き起こりました。

海開きに向け海岸線をきれいにする「八森地区海岸クリーンアップ」が7月14日に行われ、町自慢の美しい海を守ろうと多くの町民が参加しました。  
 参加者たちはゴミ袋を手に、波打ち際に寄せられたゴミや投げ捨てられた空き缶などを約1時間にわたって拾いました。ゴミの中には、冷蔵庫やタイヤなど不法投棄とみられるものもありましたが、参加者たちは海岸をきれいにしようと汗を流してゴミを拾っていました。  
 いつもきれいな海岸にするため、ゴミの投げ捨ては絶対に止めましょう。



きれいな海へと汗を流しました

海水浴シーズンに向けて  
**「八森地区  
 海岸クリーンアップ」**



無事故を祈願

7月17日、岩館・滝の間海岸が海開きされ、岩館海浜プールY.O.U遊海館で神事が行われました。この日は、町や、議会、観光協会関係者や町民ら約20人が参加し、「無事故で、大勢の海水浴客が訪れますように」と祈願しました。  
 また、この神事に先立ち、たくさんの観光客が安心して楽しめるように、海岸のクリーンアップを行ったほか、八峰消防署の救急隊員を講師に心肺蘇生法などの海難救助訓練を行いました。  
 7月下旬の土日には、たくさんの方の海水浴客が、暑い夏を楽しんでいました。

海水浴シーズン中の無事故を祈願  
**「海開き神事」**

このほど、ファガスで八峰町公共交通会議を開催しました。  
 この会議は、マイカーの普及により公共交通機関離れが進む一方で高齢者や障害を持つ方の移動の足の確保を図るために設置したものです。  
 この日は、タクシー・バス会社の代表や日頃公共交通を利用している町民など12人で構成された委員らが出席し、様々な意見や提案が出されました。  
 この会議では町民の意向を調査するアンケートを行う予定で、その結果に基づいて、よりよい公共交通支援を進めていくことになっています。



活発な意見や提案が出されました

地域の足を守るため  
**八峰町公共交通会議を開催**

7月20日、第19回ホテルフェスティバルが水沢ダム下流の「ホテルの里広場」で開催されました。これは岩子・大久保岱自然の里の会(田村博会長)が水沢川の美しい自然を楽しんでもらおうと毎年開催しているものです。  
 この日は、夏の日差しの下、大勢の親子連れが訪れ、子供たちは水路に放流されたイワナをつかみ捕りしたり、スイカ割りやバーベキューで自然を満喫していました。夜にはお待ちかねのホテルを觀賞し、夏の思い出の一ページを加えました。



大好評だったイワナのつかみどり

第21回ホテルフェスティバル  
**大自然を満喫!**